
最後のラブソング

星の雫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最後のラブソング

【Nコード】

N8797I

【作者名】

星の雫

【あらすじ】

ヒロと奏での思い出を描く恋愛小説。

二人にはいろんな試練があり、その一つひとつを乗り越えてきた。

悲しくて切ない恋愛小説。

「最後のラブソング」

どうぞご覧下さい。

『The little love song』

どんなに 遠く 遠く

あなたがいつでも

わたしは

あなたに届けるよ。

ありがとう ありがとう

ただ伝えたくて

でも

伝えられなくて

そんな日々

繰り返し

ずっとずっと

生きてきた

バカだね

好きって伝えたい

でも 恥ずかしい

断られたら……

そんなこと気にして

私は

また悩み

また泣いて

いつのまにか

あなたは

遠くに行ってしまった

さよならの前に

あなたに伝えたい

大好きでした……

あなたに恋をしました。桜の満開の季節。

奏は、高校の正門の前に立ち止まり、ケータイを開くと、メールを打ち始めた。

《ヒロ君！今日やっと私、高校入学します！！今何してる？私は、今もヒロ君の事、覚えてるよ。何年経っても忘れない。あっ後一つ、私、ヒロ君のことが好きでした。今も……》

それだけ、打つと奏では送信ボタンを押した。

その後、すぐにメールが届いた。

《相手先ホストの都合により送信できませんでした。》

ケータイ会社からだった。

奏では、最初から知っていたかのような目で、そのまま、ケータイを閉じた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8797i/>

最後のラブソング

2010年11月11日22時59分発行